



B 内水 ハザードマップ

西帯広地区 北部

内水氾濫時の避難の心得

- 内水氾濫は短時間の間に発生します。急な豪雨が降ってきたら早めに2階以上の高い場所に移動して雨がおさまるのを待ちましょう。
- 地下室や地下街、用水路などの辺は危険ですので離れた場所へ避難をしましょう。
- 外へ歩いて避難する際は被災しないよう足元に注意し、マンホールや川から離れた道を通りましょう。



内水氾濫とは

市街地などに降った雨が排水路や下水管の雨水処理能力を超えた際や、雨で川の水位が上昇して市街地などの水を川に排出することができなくなった際に、市街地などに水が溢れる浸水害のことです。

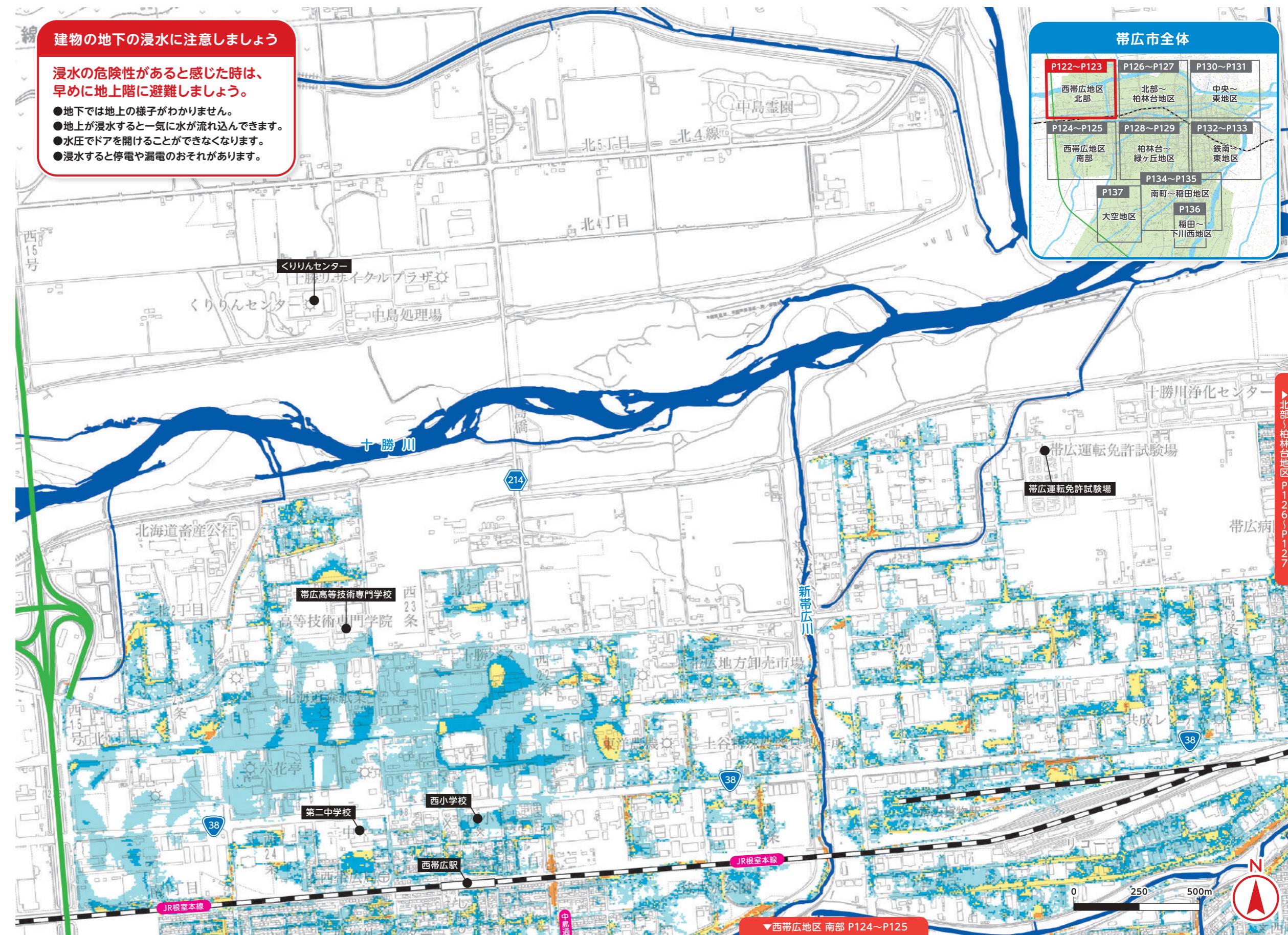


浸水想定区域凡例

- 0.5m以上の
浸水想定範囲
- 0.2~0.5m未満の
浸水想定範囲
- 0.1~0.2m未満の
浸水想定範囲
- 0.1m未満の
浸水想定範囲

建物の地下の浸水に注意しましょう

- 浸水の危険性があると感じた時は、早めに地上階に避難しましょう。**
- 地下では地上の様子がわかりません。
 - 地上が浸水すると一気に水が流れ込んできます。
 - 水圧でドアを開けることができなくなります。
 - 浸水すると停電や漏電のおそれがあります。



帯広市HP

本ガイドを
ご確認
いただけます

浸水キックル

リアルタイムの
危険度をご確認
いただけます

WEB版ハザードマップ

浸水の影響を詳細に
ご確認いただけます
Viewable in English

QRコード

QRコード

QRコード